



平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 メディアスホールディングス株式会社
コード番号 3154 URL <http://www.medius.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池谷 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長

(氏名) 芥川 浩之

TEL 03-3242-3154

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	36,641	8.0	△130	—	△19	—	△50	—
27年6月期第1四半期	33,931	3.9	△103	—	△0	—	△30	—

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 △1百万円 (—%) 27年6月期第1四半期 45百万円 (△61.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	△15.54	—
27年6月期第1四半期	△10.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	50,744	8,258	16.3
27年6月期	46,493	8,519	18.3

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 8,258百万円 27年6月期 8,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	80.00	80.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.00	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	76,700	6.0	300	12.0	500	4.4	300	31.2	92.53
通期	157,700	7.9	1,100	62.4	1,550	49.9	900	107.7	277.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期1Q	3,242,256 株	27年6月期	3,242,256 株
② 期末自己株式数	28年6月期1Q	78 株	27年6月期	78 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期1Q	3,242,178 株	27年6月期1Q	2,931,009 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や原油安を主要因とした好調な企業収益の改善に伴う設備投資等は順調に推移している一方で、中国経済減速の影響による世界経済の下振れ懸念や国内では直近四半期のGDP成長率が対前年比マイナスに転じるなど、楽観視できない状況で推移しております。

医療業界におきましては、平成26年10月に、医療機関が医療機能の現状と今後の方向性を都道府県に報告する仕組み「病床機能報告制度」が導入され、都道府県はその情報を基に、地域で最適な医療機能の分化と連携を推進させるための地域医療構想(ビジョン)を策定することにより、地域医療機関の自主的な取り組みや相互の連携が一層図られることになりました。また、政府による経済財政改革の基本方針では、データに基づいた医療機関の地域格差を分析、重複受診等を適正化し、その地域格差の是正及び後発医薬品の数量シェア目標の引き上げ等の方向性が打ち出されております。平成27年3月には総務省が新たに公立病院改革ガイドラインを出すなど、公立病院改革を一層推し進める施策も打ち出されております。

当社グループが属する医療機器販売業界におきましては、経営環境が変化すると予測される医療機関に対して、医療機関の経営改善に繋がる複合的なサービスを継続して提供する必要があると考えております。また、今後は他業界からの参入に加え、業界内においても再編が進むことが予想されます。これら当社グループを取り巻く経営環境に対して、提案型の営業強化や、より一層の経営の効率化並びにコスト削減に対する施策が不可欠であると認識しております。

このような経営環境の下、当社グループは「地域医療への貢献」を経営理念に掲げ、特にSPD事業の拡大に注力して参りました。また、SPD事業の拡大を足掛かりとした手術室業務支援ソフトウェア「サージレーン」や医療材料データベース・医療材料分析サービス「メッカル」の提案等、医療機関の経営改善に繋がる複合的なサービスの推進に努めました。前期においては、大型の設備案件が大幅に減少していましたが、今期においては医療機関の増改築に伴う備品案件獲得や一般消耗品の売上が堅調に推移した結果、売上高は前年同四半期比で上回りました。売上総利益率につきましては、前年同四半期と同水準で推移いたしました。販売管理費については、新規物流センター開設に伴う外部委託先に対する業務委託費増加の影響がありました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は36,641百万円(前年同四半期比8.0%増)、営業損失は130百万円(前年同四半期は103百万円の営業損失)、経常損失は19百万円(前年同四半期は0.7百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は50百万円(前年同四半期は30百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療機器販売事業

医療機器販売事業では、消耗品については、新規獲得したSPD契約による消耗品売上のベースアップもあり、堅調に進みました。備品については、病院等の新築及び増改築に伴う備品の獲得があり、前年同四半期に比べて売上高は増加しました。この結果、売上高は35,850百万円(前年同四半期比8.2%増)となりました。利益面では、消耗品についてはSPD契約を足掛かりとした販売増加による利益の獲得、販売促進イベント獲得の効果があつたものの、償還価格の改定や医療機関からの値下げ要求もあり、前年同四半期と比較して利益率は若干低下しました。備品については、前年同四半期比で売上高は増加し、超音波診断装置や内視鏡を中心とした診断検査装置等の備品販売において利益が確保できたことにより、利益率は前年同四半期比で上昇しました。この結果、売上総利益は3,306百万円(同3.5%増)となりました。

またセグメント利益(営業利益)は、780百万円(同2.5%減)となりました。

②介護・福祉事業

介護・福祉事業は、新規顧客獲得が想定ほど進まず、また他業者参入による競争の激化もあり、介護福祉機器の販売が前年同四半期比で低調に推移しました。この結果、売上高は791百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。利益率については前年同四半期比で上昇したことにより売上総利益は356百万円(同4.3%増)となりました。

またセグメント利益(営業利益)は、61百万円(同9.1%減)となりました。

(注)当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業…… 国内外の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び介護施設並びに医療機器販売業者、一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から4,250百万円増加し、50,744百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末から4,148百万円増加し、43,176百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,784百万円、受取手形及び売掛金が547百万円、商品及び製品が615百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末から102百万円増加し、7,567百万円となりました。これは主に投資その他の資産が102百万円増加したことによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から4,512百万円増加し、42,485百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末から4,614百万円増加し、39,446百万円となりました。これは主に短期借入金が5,833百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が1,436百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末から101百万円減少し、3,039百万円となりました。これは主に長期借入金が173百万円減少したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から261百万円減少し、8,258百万円となりました。これは主に利益剰余金が309百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が47百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年8月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において持分法適用非連結子会社であった㈱ケアフォースは重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より、持分法適用の範囲から除外し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,300,295	7,084,716
受取手形及び売掛金	27,089,869	27,637,844
商品及び製品	5,990,058	6,605,088
仕掛品	41,544	44,606
原材料及び貯蔵品	11,580	10,390
その他	1,602,939	1,802,138
貸倒引当金	△8,450	△8,504
流動資産合計	39,027,837	43,176,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	917,972	910,874
土地	1,715,309	1,715,309
その他(純額)	369,341	424,406
有形固定資産合計	3,002,624	3,050,591
無形固定資産		
のれん	241,058	241,355
その他	702,716	654,230
無形固定資産合計	943,775	895,585
投資その他の資産		
その他	3,588,530	3,686,346
貸倒引当金	△69,623	△64,671
投資その他の資産合計	3,518,906	3,621,675
固定資産合計	7,465,306	7,567,852
資産合計	46,493,144	50,744,133

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,762,624	27,326,574
短期借入金	4,417,753	10,251,505
未払法人税等	177,848	208,445
賞与引当金	—	433,227
その他	1,473,772	1,226,395
流動負債合計	34,831,999	39,446,147
固定負債		
長期借入金	1,764,415	1,591,088
退職給付に係る負債	712,443	727,963
資産除去債務	16,033	24,778
その他	648,277	695,473
固定負債合計	3,141,169	3,039,304
負債合計	37,973,169	42,485,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,285,270	1,285,270
資本剰余金	1,395,240	1,395,240
利益剰余金	5,372,134	5,062,355
自己株式	△134	△134
株主資本合計	8,052,510	7,742,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	496,808	544,205
退職給付に係る調整累計額	△29,343	△28,256
その他の包括利益累計額合計	467,464	515,948
純資産合計	8,519,975	8,258,680
負債純資産合計	46,493,144	50,744,133

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	33,931,712	36,641,646
売上原価	30,394,108	32,978,958
売上総利益	3,537,603	3,662,688
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	12,387	—
給料及び手当	1,488,068	1,520,721
従業員賞与	411,355	432,573
退職給付費用	106,515	119,412
法定福利費	250,744	268,510
減価償却費	109,473	108,523
賃借料	244,988	319,941
業務委託費	271,063	300,375
その他	746,352	723,434
販売費及び一般管理費合計	3,640,948	3,793,491
営業損失(△)	△103,344	△130,803
営業外収益		
受取利息	678	702
受取配当金	3,604	3,614
仕入割引	90,522	99,835
その他	29,105	24,691
営業外収益合計	123,911	128,843
営業外費用		
支払利息	17,647	15,460
その他	3,714	1,726
営業外費用合計	21,361	17,187
経常損失(△)	△794	△19,146
特別利益		
固定資産売却益	—	179
特別利益合計	—	179
特別損失		
固定資産売却損	—	30
固定資産除却損	12,598	86
特別損失合計	12,598	116
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,393	△19,084
法人税、住民税及び事業税	173,751	212,540
法人税等調整額	△156,578	△181,220
法人税等合計	17,172	31,320
四半期純損失(△)	△30,566	△50,404
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,566	△50,404

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△30,566	△50,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,741	47,397
退職給付に係る調整額	839	1,087
その他の包括利益合計	75,580	48,484
四半期包括利益	45,014	△1,920
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,014	△1,920

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,120,602	811,110	33,931,712	—	33,931,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,120,602	811,110	33,931,712	—	33,931,712
セグメント利益又は損失(△)	801,044	68,131	869,176	△972,520	△103,344

(注) 1 セグメント利益の調整額△972,520千円には、のれん償却額△84,393千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△888,127千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社ジオットの全株式を取得し、連結子会社としたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては87,769千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,850,188	791,457	36,641,646	—	36,641,646
セグメント間の内部売上高 又は振替高	550	5,154	5,704	△5,704	—
計	35,850,739	796,612	36,647,351	△5,704	36,641,646
セグメント利益又は損失(△)	780,897	61,935	842,833	△973,636	△130,803

(注) 1 セグメント利益の調整額△973,636千円には、セグメント間取引消去4,030千円、のれん償却額△20,166千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△957,500千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。